

編集発行責任者 吉田 和彦

〒125-8506 東京都葛飾区青戸6-41-2

TEL:03-3603-2111 (代表)

URL:<http://www.jikei.ac.jp/hospital/katsushika/>E-mail:[aotokouhou@jikei.ac.jp](mailto:aotokouhou@jikei.ac.jp)

## INDEX

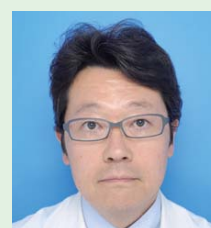
01. 診療部長就任のご挨拶 (小児科、産婦人科、泌尿器科)
02. 診療科紹介 (整形外科)、公開セミナーの延期について
03. 診療科紹介 (眼科)
04. 2020年度初期研修医紹介、新型コロナウイルス感染症と栄養

## 診療部長就任のご挨拶

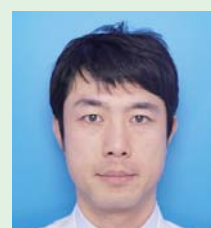
**本** 年4月より小児科診療部長に就任いたしました高島典子です。慈恵医大の本院研修のあと、慈恵医大柏病院、大学院、横浜の汐見台病院、再び柏病院勤務と、附属病院での診療は20年以上になりますが、初めての葛飾医療センター勤務です。私自身は、葛飾柴又育ちの主人と結婚して本籍は葛飾区となり、なにに運命的なものを感じております。私は、小児科では比較的少ない小児栄養消化器分野を専門にしており、一般的な便秘の治療や栄養相談をはじめ、最近小児でも増えてきた炎症性腸疾患や低身長、甲状腺疾患、糖尿病などの内分泌疾患のお子さんの診療に従事してまいりました。また、二人の息子がおり、自身の育児そして母親同士のコミュニティの経験を生かし、ご家族の気持ちに寄り添った医療を心がけております。これからも小児科スタッフ一同、より質の高い医療を提供し、地域のニーズに応えられる医療を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

小児科 診療部長  
高島 典子

**本** 年4月より産婦人科診療部長に就任いたしました斎藤元章です。平成9年に慈恵医大を卒業後、慈恵医大附属病院および関連施設などで産婦人科診療に従事してまいりました。婦人科悪性腫瘍を専門職としており、ドイツシャリテ大学での臨床留学での経験を活かした手術を取り入れ、日々の診療にあたっております。当科では、婦人科腫瘍専門医、内視鏡技術認定医が常勤しておりますので、婦人科悪性腫瘍全般、また腹腔鏡を用いた手術も積極的に行っております。また、周産期の診療にあたっては、高い専門性のある医師を中心とし、また、助産師によるきめ細かい指導を行い、安全な分娩管理に努めております。また、合併症を有するハイリスク妊娠については他科と連携して管理を行っています。地域の医療機関とも連携をとりながら、最善の医療を提供できるよう、そしてすべての女性が幸せになれるよう診療にあたっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

産婦人科 診療部長  
斎藤 元章

**2** 020年4月より当院の泌尿器科を任せられました山田です。現在、スタッフ6名(女性スタッフ1名含む)で日々診療をしております。泌尿器科ではお年寄りがかかえる病気も多くあり、高齢化がすすむ社会において泌尿器科が果たさなければならない役割はますます大きくなってきています。お元気なお年寄りの方々もいらっしゃると思いますが、特に体調不良や痛みなど自覚症状がなくても、定期健診は是非受けてください。例えば血尿(尿に血液が混じる状態)は尿路結石症や尿の通り道のがんが原因であることもあるため、決して無視できないものです。葛飾区とその周辺にはあいにく泌尿器科を専門とする施設が少ないため、当科では当地域の中核病院として泌尿器科疾患全般について偏りのない診療をおこない、地域にお住まいの方々の健康に少しでも寄与してまいりたいと考えております。女性スタッフも常勤しております。気になる症状があればお気軽にご相談ください。

泌尿器科 診療部長  
山田 裕紀

## 診療科紹介〈整形外科〉

### ●特色

当科では、各医師が東京慈恵会医科大学でそれぞれの専門診療・研究班に所属して研修を受け、また、平日頃から自己研鑽を積んでおります。各疾患の部位に応じて、専門の医師が手術を含めた診療にあたるように心がけ、治療成績の向上を図っております。また、大学病院、そして地域の基幹病院としての機能を果たすために、精密検査や手術が必要な患者様を中心に対応しています。また、足の外科、脊椎脊髄、膝関節外科についてはさらに専門的に診療しており、特殊な疾患については新橋の慈恵医大附属病院や他の分院とも連携して診療いたします。



整形外科 診療部長  
窪田 誠

### 足の外科

足部・足関節のトラブルは、整形外科では非常にポピュラーな疾患で、一般外来でも数多く遭遇します。しかし、治療を受けていてもなかなか治らない足の症状や手術が必要になるもの、専門的知識が必要な特殊な疾患もあり、それらは「足の外科外来」で治療を担当しております。足の疾患を専門的に診療する医療機関は限られておりますが、当科では小児疾患から成人の疾患まで広く対応しております。義肢装具士も待機しておりますので、装具や靴による治療も迅速に対応できます。



### 脊椎脊髄

脊椎の疾患に幅広く対応いたします。画像検査では、レントゲン撮影のほかCT、MRI、トモシンセスなどにより精度の高い診断を行っています。脊椎由来の痛みやしびれに対しては、薬物療法や神経ブロックなどの保存療法を十分に行いますが、保存療法を行っても症状が改善しない場合は手術治療を検討します。当科の特徴としては、高血圧症や脂質異常症、糖尿病、慢性腎臓病（血液透析含）などの内科的合併症を有した患者様に対しても大学病院の利点を生かし、内科各科と連携を行い、安全確実に手術を行うことにあります。また、脊椎内視鏡手術をはじめとした低侵襲手術も積極的に行っております。



### 膝関節

小児から成人、高齢者まで膝関節の疾患、外傷の診療および手術を幅広く行っております。変形性膝関節症に対する手術は、人工膝関節置換術（TKA）を中心に、症例に応じて、人工膝関節単顆置換術（UKA）、高位脛骨骨切り術（HTO）などを行っております。また、前十字靭帯再建術や関節鏡下半月板切除術・縫合術などの関節鏡を用いた手術にも積極的に取り組んでおります。

文責 井上雄

## 公開セミナーの延期について



公開セミナーの開催を延期いたしました。

2020年6月13日（土）に当医療センター5階講堂にて、

第55回葛飾医療センター公開セミナーが開催予定でしたが、新型コロナの影響で延期となりました。

**なお、次回は2020年9月12日（土）を予定しております。**

詳細が決まりましたら改めてご連絡させていただきます。

# 診療科紹介〈眼科〉

## ● 特色

当院眼科の特徴は、何と言っても上級医3人の専門分野が異なることです。診療部長は、加齢黄斑変性・黄斑浮腫、遺伝性網膜・視神経疾患、ぶどう膜炎、神経眼科疾患を得意としており、田講師は、角結膜疾患、ドライアイ、白内障手術を専門とし、窪田医師は、網膜硝子体手術、緑内障、白内障手術を手がけています。専門性だけでみると国内の大きな大学病院に引けをとりません。白内障手術に関しては、日帰り手術も対応しています。



眼科 診療部長  
林 孝彰

## 網膜硝子体疾患

「突然見えなくなった」という症状の原因には糖尿病網膜症、硝子体出血、網膜剥離など様々です。これらは手術が必要となる可能性の高い疾患です。症状がある場合早期に医療機関を受診していただき、必要があれば当院で低侵襲かつ安全な手術を行うことができます。

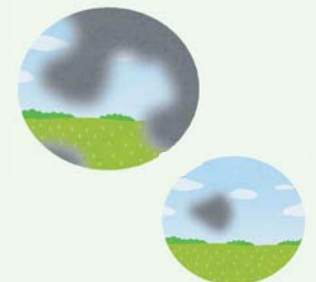
## 加齢黄斑変性

中心部が見にくく暗く感じたり、線やものが歪んで見える症状がでます。診断後、早期に抗VEGF薬（アイリーア、ルセンチス）の硝子体注射が必要な病気です。硝子体注射は10秒ほどで終了する治療で、痛みを伴わない方法を導入しています。感染症予防の観点から手術室で行っています。必要に応じて、光線力学的療法を併用する場合があります。年間のべ700人を超える患者さんの治療を行っています。



## 緑内障

緑内障は失明原因第1位の病気です。残念ながら緑内障による視野障害を回復させることは現在の医療では困難ですが、眼圧を下降させることが唯一の治療法です。人生100年時代において視機能温存のためには、早期に低侵襲手術を含む、より積極的な治療が必要となります。



## ドライアイ

ドライアイは涙が少ないために目が乾き、目がしょぼしょぼしたり疲れやすくなったりする病気です。ものが見づらくなることもあります。近年、涙が少なくなくても同じような症状が出たり、結膜弛緩症など他の病気が隠れていたりすることがわかってきました。適切な点眼薬を使用することで、症状が軽くなることも多いため、症状が続くときは、受診をおすすめします。



## 遺伝性網膜・視神経疾患

白っぽくなる眩しさや夜が見にくいという症状がある場合、この病気をもっている可能性があります。確定診断の目的で、網膜電図と遺伝子診断を行っています。遺伝カウンセリング、障害者手帳・障害年金に対する対応、治療に関する最先端の情報を提供しています。これまでに300人を超える患者さんの遺伝子診断を行ってきました。



## 2020年度初期研修医のご紹介

### 廣見 晃子

精一杯頑張りたいと思います。  
何卒よろしくお願いたします。

### 後藤 侑真

充実した2年間になるよう、  
日々頑張りたいと思います。

### 山下 博史

患者さんに誠心誠意向き合う  
医師になれるよう頑張ります。

### 窪谷 彩

患者さんに寄り添える医療者にな  
るべく、精一杯頑張ります。

### 碓井 文雄

少しでも貢献できるようにがんばります。  
よろしくお願いたします。

### 山口 真希

患者さんに信頼していただける医師を目指し、  
精進いたします。よろしくお願いたします。

### 池田 沙穂

地域に貢献できる医師となれるよう精進します。  
2年間宜しくお願申し上げます。

### 久保 優芽佳

誠心誠意頑張りますので、  
よろしくお願いたします。

### 加藤 南

2年間ご指導ご鞭撻のほど  
よろしくお願いたします。

### 泉原 亮友

至らない点ばかりかと思いますが、  
一生懸命頑張りますので、  
どうぞよろしくお願申し上げます。

### 大曾根 史将

自分のできることを積極的にみつけ、  
全力でチームに貢献したいと思ひます。



山下博史・泉原亮友・後藤侑真・碓井文雄・大曾根史将  
池田沙穂・久保優芽佳・加藤南・窪谷彩・山口真希・廣見晃子

## 新型コロナウイルス感染症と栄養

栄養部 / 種村 陽子

新型コロナウイルス感染症に対し、「これがお勧め!!」というような特定の食材や栄養素はありません。毎食、主食・主菜・副菜を摂り、1日の中で牛乳・乳製品、果物を摂ることで、バランスの良い食事につながり、普段から免疫力を高めることができます。

外出自粛の時期ではありますが、外に出る機会が少なくなると、日光の紫外線を皮膚に浴びてできる「ビタミンD」の合成が少なくなります。ビタミンDは、健康な骨・筋肉・歯のためにカルシウムやリンと一緒に働き、筋力を保護し、転倒予防に働くため、最近話題のサルコペニアやフレイル対策にも重要です。ビタミンDが多い食材は、鮭やイワシ、サンマなどの魚類、シタケなどのきのこ類があげられます。ビタミンDは脂溶性ビタミンのため、油と一緒に取ると吸収がよくなります。食物からビタミンDを摂りつつ、散歩などで外出の機会を増やしましょう。また、日光に浴びる機会が少ない場合は、晴れた日に庭やベランダに出て日光を浴びてみてはいかがでしょうか。

・水分摂取も忘れずに!

・ヨーグルトや乳酸菌飲料で腸内環境を整えることも、感染対策につながります



### ビタミンDたっぷりレシピ / 鮭のちゃんちゃんホイル蒸し

#### 〈材料1人分〉

- ・生鮭 1切
- ・キャベツ 1枚
- ・玉ねぎ 1/4個
- ・人参 1/8個
- ・しめじ 1/4パック
- ・ピーマン 1/2個

#### 〈作り方〉

- ①キャベツはざく切り、玉ねぎはスライス、人参は拍子切り、ピーマンは細切り、しめじは小房に分ける。
- ②Aの調味料を混ぜ合わせる。
- ③アルミホイルに野菜をのせ、その上に鮭をのせる。  
②の調味料をかけ、バターをのせる。アルミホイルをとじる。
- ④フライパンに③をのせ、アルミホイルの下まで水を入れる。火をつけて沸騰したら、蓋をして中火で15分蒸す。  
(水がなくなるよう注意して下さい)

\*野菜はお好みのものを使用してもかまいません。  
また、カット野菜を使うとより手軽に作れます。

- A
- ・みそ 大さじ2/3
  - ・砂糖 小さじ1
  - ・醤油 小さじ1/2
  - ・酒 大さじ1/2
  - ・みりん 大さじ1/2
  - ・バター 5g

(エネルギー:308kcal 塩分2.1g)



\*病院でも患者さんに提供した一品です。